

2022 年 6 月 21 日

PE-6 のメンテナンス方法

株式会社トヨトミ

ペレットストーブのメンテナンスの基本は、蓄積した灰の掃除です。基本的な掃除の他、下記に従い各部の掃除をお願いします。

給排気筒トップや排気管内に残った灰・ススは水分を吸って固まり、排気の障害になり、不完全燃焼の原因となります。シーズンオフには、給排気筒トップや排気管内の灰・ススも取り除いてください。

燃焼中や消火直後にメンテナンスを行うと、やけどをする可能性があります。必ず本体が冷めていることを確認してから行ってください。

メンテナンス（掃除）前の準備



◎外扉を外します。手で支えながら、真上に持ち上げ本体から外します。外せない場合は、本体とヒンジを固定しているネジを緩めてから、外扉を真上に持ち上げ本体から外してください。

◎ルーバーを持って持ち上げると、ルーバーが変形する可能性があります。ルーバーを持って持ち上げないでください。

① ガラスの掃除



◎ガラス面は煤や灰が付着して汚れます。固く絞った雑巾等でふき取ってください。消火直後等のガラス面の温度が高い時には行わないでください。ガラスにヒビが入り、割れることがあります。

◎研磨剤の入ったクレンザー等は使用しないでください。



◎ガラス面と扉の隙間、パッキンにも灰が溜まっていますので、やわらかいブラシや掃除機で取り除いてください。

◎パッキンに溜まっている灰は掃除機で吸い取ってください。

② 燃料タンクの掃除



◎スコップ等で燃料タンク内 燃料を抜き取ってください。燃料タンクの底に溜まっている粉状のペレット燃料はすべて掃除機で吸い取り空にしてください。

◎粉状のペレット燃料は、燃料供給に悪影響を与え、オーガモーターが回転しない、着火ミス、燃焼不良、火力が上がらない等の原因となります。必ず綺麗に取り除いてください。

◎シーズンオフ時は、燃料タンクが空の状態にしてください。

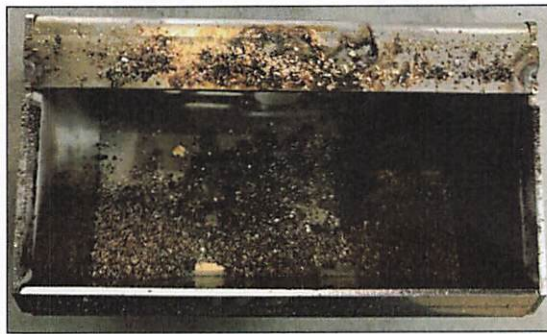
③ バーナーの掃除

・バーナーは非常に重要な部品です。蓄積した残灰、固着したクリンカ（灰の塊）は綺麗に取り除いてください。



◎バーナーに溜まった灰を取り除いてください。バーナー底面に燃焼用空気取り入れ穴が塞がっている場合は、棒等を用いて穴の詰まりを除去してください。

◎クリンカ（灰の塊）が生成していたら、ヘラ棒にてクリンカを削ぎ落してください。



◎バーナー受けの灰は、やわらかいブラシや掃除機で取り除いてください。

④ 燃焼室内の掃除

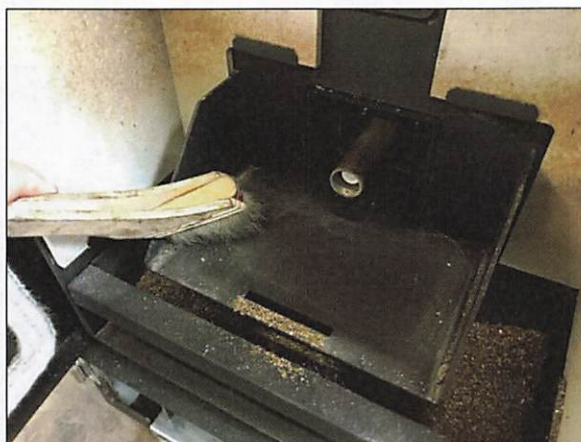


◎断熱材の灰をやわらかいブラシや乾いた布で落とします。水拭きはできません。水分を含むと割れる恐れがあります。

◎隙間に入り込んだ灰は、掃除機で吸い取ってください。



◎燃焼室上の灰をやわらかいブラシで落とします。隅や隙間に蓄積した灰は、小さなやわらかいブラシや掃除機で吸い取ります。



◎バーナー置台の灰をやわらかいブラシで灰トレイに落とします。残った灰は掃除機で吸い取ります。

⑤ 灰トレイの掃除

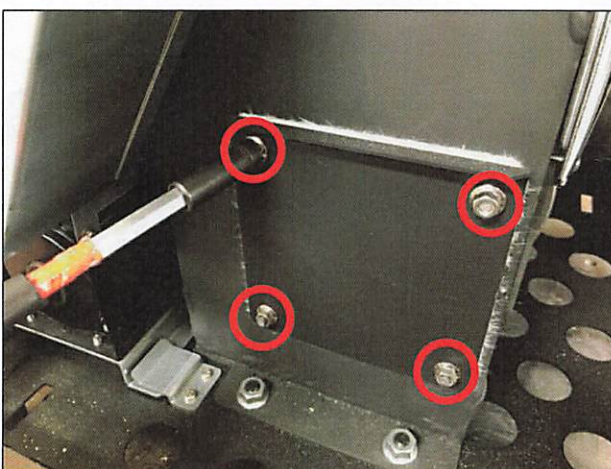


◎灰トレイに溜まった灰を処分してください。

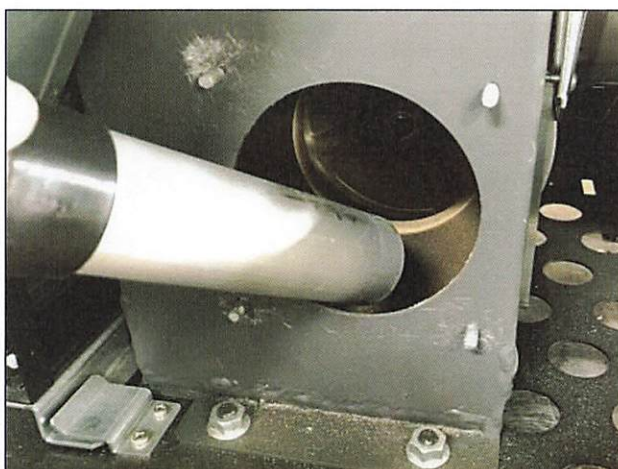
⑥ 排気室内の掃除



◎右側板○部の前面側 3箇所、背面側 3箇所のねじを外します。右側板の下側を手で持ち、右側板全体を引っ張って本体から浮かせ、右側板全体を上方に持ち上げて本体から右側板を取外します。



◎排気室○部の 4箇所の対角 8mmの六角ナットを取り外して、排気室フタとパッキンを取り外します。



◎排気室内に蓄積している灰を、掃除機で吸い取ります。

◎奥に排気ファンがあります。変形などさせないよう丁寧な作業をしてください。

⑦ 燃焼室裏側の排気経路の掃除（重要）



◎○内にあるねじ 4 本を取外し、断熱材ブラケット（2箇所）を取り外してください。

◎NO2 サイズのプラスドライバーを使用してください。不適切なドライバーを使用すると、十字溝がつぶれてしまい、ネジを回せなくなってしまうです

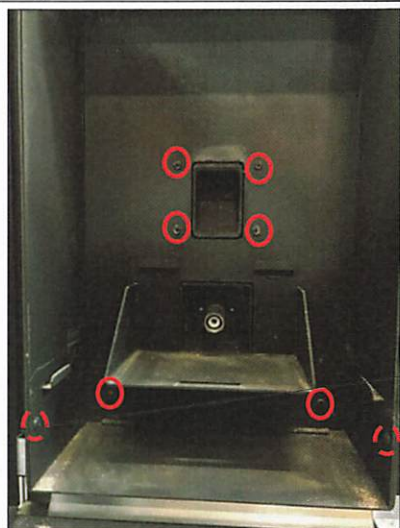
◎ねじが固着して固くなっている可能性があります。適宜、市販の CRC 等を使用してください。断熱材にはかけないようにしてください。割れる可能性があります。



◎手前側へ引き抜き、左右 2 枚の断熱材を取り外してください。



◎背面側の断熱材を取り外してください。上方へ持ち上げ取り外します。



◎遮熱板組立を取り付けているネジ 8 本を取外してください。

◎左右のねじは M ねじです。組み付け時に間違えないようにしてください。

Mねじ



◎遮熱板組立を本体から手前側に引き抜いてください。

◎上下左右を均等 (平行) に引き抜かないと、途中で抜けなくなります。

◎遮熱板組立の左右を持ち、上下左右の均等を確認しながら、ゆっくりと引き抜いてください、

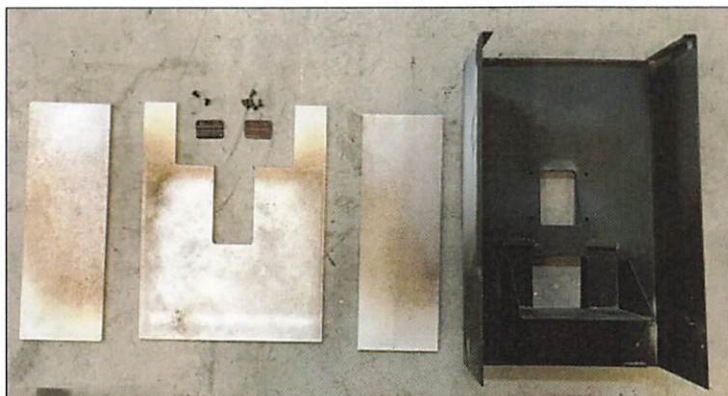


◎燃焼室上に蓄積した灰を、小さなやわらかいブラシで落としてください。

◎隙間に蓄積した灰も落としてください。



◎燃焼室裏 (排気経路) に蓄積した灰を掃除機で吸い取ってください。



◎取外した部材に蓄積した灰を掃除機で吸い取ってください。

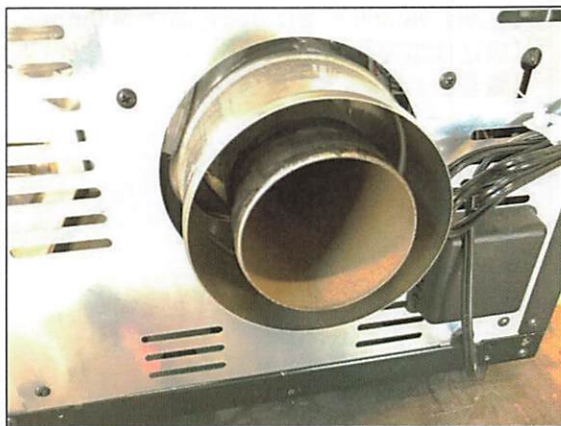
◎断熱材は水拭きできません。

◎断熱材は裏返して使用可能です。

◎逆の手順で元通りに組み付けてください。

◎市販の焼付防止剤をねじに塗布してから組み付けると固着しにくくなります。

⑧ 排気出口内部の掃除



◎排気出口内部の灰を掃除機で吸い取ってください。

◎消火直後に触れるとやけどをする可能性があります。必ず本体および排気温度が下がっていることを確認してから行ってください。

その他

●取り外した部品等は元の通り、しっかりと組み付けしてください。

●ペレットストーブは、燃料の質にとっても敏感な製品です。バーナー内に灰が多量に蓄積していたり、クリンカが多量に付着していたりした場合は、燃料の質が悪い可能性があります。お客様にしっかりと説明して頂き、適切なペレット燃料の使用をお勧めください。

●お客様に快適にご使用いただくため、気になった点などありましたら、しっかりと説明をお願いします。

●日常の点検・お手入れとは別に 1～2 シーズンに 1 回程度の定期メンテナンスが必要です。(本体のオーバーホール及び排気筒の掃除 *有料) お客様にお伝えください。

●弊社では、ペレットストーブ用灰掃除機をご用意しております。詳しくは弊社、または担当営業までお問い合わせください。



【型番】PC-1000A

【定価】オープン

【寸法】幅 366×奥行 366×高さ 500mm

【吸込仕事率】470W

【質量】4.2 k g